

取扱説明書

RadiForce® MS236WT

タッチパネル装着カラー液晶モニター

重要

ご使用前には必ずこの取扱説明書および設定マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

この取扱説明書は大切に保管してください。

- ・モニターの設定 / 調整については、設定マニュアルを参照してください。
- ・取扱説明書を含む最新の製品情報は、当社のWebサイトから確認できます。

<http://www.eizo.co.jp>

ユーザー登録のお願い

このたびは、当社製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
お買い上げいただきましたお客様へより充実したサポートをお届けするため、
ユーザー登録をお願いいたします。

**登録方法：当社のWebサイトからオンライン登録
次のアドレスにアクセスし、ご登録ください。**

<http://www.eizo.co.jp/registration/>



絵表示について

本書では次の絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
	注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容、および物的損害のみ発生する可能性がある内容を示しています。
	注意（警告を含む）を促すものです。たとえば  は「感電注意」を示しています。
	禁止の行為を示すものです。たとえば  は「分解禁止」を示しています。
	「アース線を接続すること」を示しています。
	行為を強制したり指示するものです。

製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

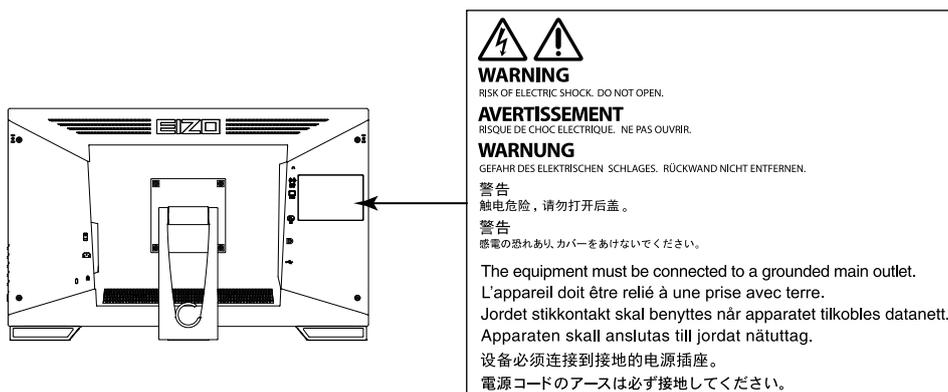
1. 本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4. 本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
5. 乱丁本、落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店までご連絡ください。

使用上の注意

● 重要

- 本製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.
- ご使用前には、「使用上の注意」および本体の「警告表示」をよく読み、必ずお守りください。

警告表示位置



本体に使われている記号について

記号	意味
○	主電源スイッチ： この製品の主電源をオフにします。
⏻	主電源スイッチ： この製品の主電源をオンにします。
⏻	電源スイッチ： この製品の電源をオンまたはオフにします。
~	交流
⚡	危険警告・感電
⚠	注意： 「絵表示について」 (P.2) 参照

警告

万一、異常現象（煙、異音、においなど）が発生した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店またはEIZOメンテナンスセンターに連絡する
そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。



分解しない、製品を改造しない

この製品内部には、高電圧や高温になる部分があり、感電、やけどの原因となります。また、改造は火災、感電の原因となります。



修理は販売店またはEIZOメンテナンスセンターに依頼する

お客様による修理は火災や感電、故障の原因となりますので、絶対におやめください。



異物を入れない、液体を置かない

この製品内部に金属、燃えやすい物や液体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。

万一、この製品内部に液体をこぼしたり、異物を落とした場合には、すぐに電源プラグを抜き、販売店またはEIZOメンテナンスセンターにご連絡ください。



丈夫で安定した場所に置く

不安定な場所に置くと、落下することがあり、けがの原因となります。

万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはEIZOメンテナンスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



次のような場所で使用しない

火災や感電、故障の原因となります。

- ・屋外。車両・船舶などへの搭載
- ・湿気やほこりの多い場所
- ・水滴のかかる場所。浴室、水場など
- ・油煙や湯気が直接当たる場所や熱器具、加湿器の近く
- ・直射日光が直接製品に当たる場所
- ・可燃性ガスのある環境
- ・腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）が発生する環境
- ・ほこりや空気中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）や導電性の金属などが含まれている環境



プラスチック袋は子供の手の届かない場所に保管する

包装用のプラスチック袋をかぶったりすると窒息の原因となります。



付属の電源コードを使用し、100VAC電源に接続して使用する

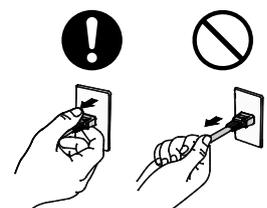
付属の電源コードは日本国内100VAC 専用品です。

誤った接続をすると火災や感電の原因となります。



電源コードを抜くときは、プラグ部分を持つ

コード部分を引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。

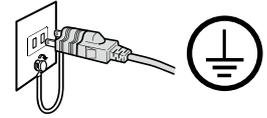


警告

電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、安全（感電防止）および電磁界放射低減のため、アースリード（緑）を必ず接地する

なお、アースリードは電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。

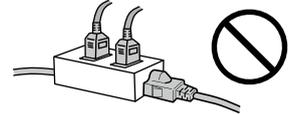
二芯アダプタのアースリード、および三芯プラグのアースが、コンセントの他の電極に接触しないようにしてください。



次のような誤った電源接続をしない

誤った接続は火災、感電、故障の原因となります。

- 取扱説明書で指定された電源電圧以外への接続
- タコ足配線



電源コードを傷つけない

電源コードに重いものをのせる、引っ張る、束ねて結ぶなどをしないでください。電源コードが破損（芯線の露出、断線など）し、火災や感電の原因となります。



操作者はこの製品に触れたまま患者に接触しない

この製品は患者との接触を意図していません。



雷が鳴り出したら、電源プラグやコードには触れない

感電の原因となります。



アーム（または他のスタンド）を使用する場合は、それらの取扱説明書の指示にしたがい、確実に設置する

確実に設置されていないと、外れたり、倒れたりしてけがや故障の原因となります。設置する前に、アームやスタンドを固定する机や壁などに十分な強度があるか確認してください。

万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはEIZOメンテナンスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。また、取り外したスタンドを再度取り付ける場合には必ず元のねじを使用し、確実に固定してください。



液晶パネルが破損した場合、破損部分に直接素手で触れない

もし触れてしまった場合には、手をよく洗ってください。

万一、漏れ出た液晶が、誤って口や目に入った場合には、すぐに口や目をよく洗い、医師の診断を受けてください。そのまま放置した場合、中毒を起こす恐れがあります。



注意

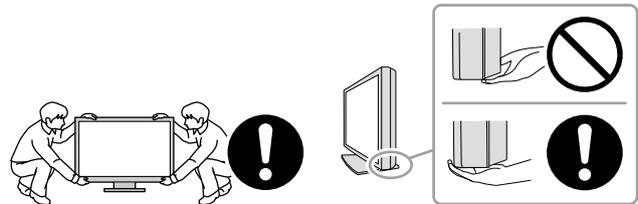
運搬のときは、接続コードやオプション品を外す

コードを引っ掛けたり、移動中にオプション品が外れたりして、けがの原因となります。



この製品を移動させるときは、正しい方法で移動する

- ・この製品を移動するときは、右図のように画面の下部をしっかりと持つ。
 - ・30インチ以上のモニターの場合、開梱や持ち運びは必ず2人以上でおこなう。
- 落としたりするとけがや故障の原因となります。



通風孔をふさがない

- ・通風孔の上や周囲にものを置かない。
- ・風通しの悪い、狭いところに置かない。
- ・横倒しや逆さにして使わない。

通風孔をふさぐと、内部が高温になり、火災や感電、故障の原因となります。



濡れた手で電源プラグに触れない

感電の原因となります。



電源プラグの周囲にものを置かない

火災や感電防止のため、異常が起きたときすぐ電源プラグを抜けるようにしておいてください。



電源プラグ周辺、モニターの通風孔は定期的に掃除する

ほこり、水、油などが付着すると火災の原因となります。



クリーニングの際は電源プラグを抜く

プラグを差したままでおこなうと、感電の原因となります。



長時間使用しない場合には、安全および省エネルギーのため、本体の電源を切った後、電源コンセントから電源プラグも抜く



モニターについて

使用用途

この製品は、電子カルテ表示用途に適しています。

注意点

- ・上記用途で使用する場合には、横表示でご使用ください。
- ・本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。
- ・本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用します。
- ・この製品には、当社オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

使用上の留意点

- ・経年使用により、部品（液晶パネルなど）が劣化することがあります。正常に動作することを定期的に確認してください。
- ・同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。
- ・表示状態を長時間続けると、表示面に黒いシミやムラ、焼き付きが発生する場合がありますのでご注意ください。モニターを長くお使いいただくため、定期的にモニターの電源をオフにすることをお勧めします。
- ・表示する画像によっては、短い時間でも残像が見えることがあります。その場合、画像を変更したり、数時間電源を切った状態にすると、解消されることがあります。
- ・液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、別紙「お客様ご相談窓口のご案内」に記載の窓口にお問い合わせください。
- ・画面上に欠点、発光している少数のドットが見られることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、製品本体の欠陥ではありません。
- ・パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。（液晶パネルを押した跡が残った場合、画面全体に白い画像または黒い画像を表示すると解消されることがあります。）
- ・パネルを固い物や先のとがった物などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷が付く恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。
- ・この製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

タッチパネル使用時の注意事項

- ・タッチ操作時には、次の点に注意してください。故障の原因となります。
 - パネルを強く押したり、こすったり、突いたりしないでください。
 - ボールペンや金属類などの硬い物でパネルをタッチしないでください。

モニターを長くご使用いただくために

● メンテナンス

- ・ モニターの表示品質は、入力信号の品位や製品の劣化により変化します。
- ・ 製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約30分かかります。モニターの調整は電源を入れたあと、または省電力モードから復帰して30分以上経過してからおこなってください。

● クリーニング

この製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをお勧めします。

キャビネットや液晶パネル面の汚れは、付属のクリーニングクロスを使用して、やさしくふき取ってください。

使用可能な薬剤

薬剤の種類	薬剤の商品名
消毒用エタノール	エチルアルコール（エタノール）
イソプロピルアルコール	イソプロピルアルコール
グルコン酸クロロヘキシジン	ヒビテン液
次亜塩素酸ナトリウム	ピューラックス
塩化ベンザルコニウム	ウェルパス
アルキルジアミノエチルグリシン	テゴ-51
グルタラル	ステリハイド
グルタラル	サイデックスプラス28

注意点

- ・ タッチパネル面とタッチパネルの外枠との間に、液体が入らないように注意してください。
- ・ 薬品は頻繁に使用しないでください。アルコール、消毒薬などの薬品は、キャビネットやパネル面の光沢の変化、変色、色あせ、画質の劣化などにつながる恐れがあります。
- ・ シンナー、ベンジン、ワックス、研磨クリーナーは、キャビネットやパネル面をいためるため絶対に使用しないでください。
- ・ モニターに薬品を直接附着させないでください。

モニターを快適にご使用いただくために

- ・ 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響を及ぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- ・ 長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に約10分の休憩を取ってください。
- ・ 画面は、適切な距離および角度でご覧ください。

目次

使用上の注意	3	第4章 画面が表示されない場合には	20
● 重要	3	第5章 仕様	21
モニターについて	7	5-1. 仕様一覧	21
使用用途	7	5-2. 対応解像度	22
使用上の留意点	7	● アナログ信号 (D-Sub) 入力時	22
モニターを長くご使用いただくために	8	● デジタル信号 (DisplayPort / DVI-D) 入力時	22
● メンテナンス	8	5-3. オプション品	22
● クリーニング	8	付録	23
モニターを快適にご使用いただくために	8	VCCI	23
目次	9	医療規格	23
第1章 はじめに	10	その他規格	23
1-1. 特長	10	EMC情報	24
● フルフラットデザイン	10	アフターサービス	27
● タッチしやすいスタンド機構 (レイドバックスタンド仕様)	10		
● 10点マルチタッチ対応	10		
1-2. 梱包品の確認	11		
● EIZO LCDユーティリティディスクの収録内容	11		
1-3. 各部の名称と機能	12		
● 前面	12		
● 背面	13		
第2章 設置 / 接続	14		
2-1. 設置の前に	14		
● 設置の前に	14		
● 設置条件	14		
2-2. 接続する	15		
2-3. 電源を入れる	16		
2-4. 角度を調整する	17		
2-5. タッチペンホルダー取付方法	17		
第3章 タッチパネルの設定	18		
3-1. タッチパネルのセットアップ	18		
3-2. タッチパネルの設定方法	18		
3-3. タッチパネルの有効 / 無効を設定する	19		
3-4. タッチ感度を調整する	19		

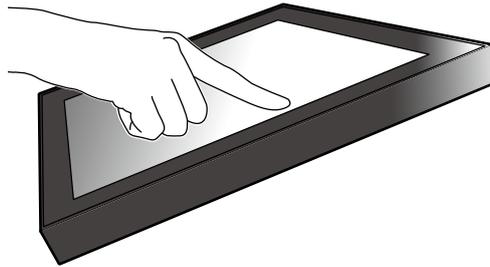
第1章 はじめに

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1-1. 特長

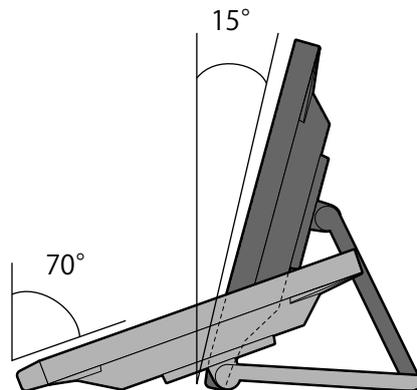
● フルフラットデザイン

ベゼル部に段差のないフルフラットデザインを採用。指先でも画面の隅までしっかりとタッチできます。



● タッチしやすいスタンド機構（レイドバックスタンド仕様）

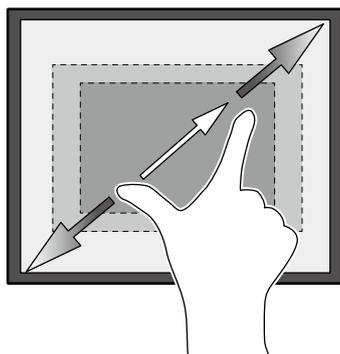
チルト角を無段階に調整可能。オフィスワークやマルチタッチ操作など、使い方にあった作業しやすい画面位置にスムーズに変更できます。



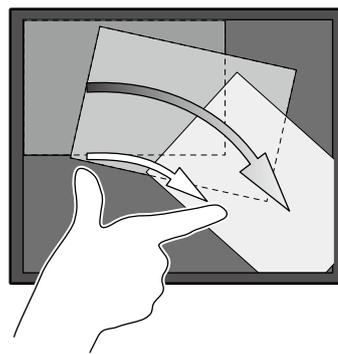
● 10点マルチタッチ対応

マルチタッチによる拡大/縮小、回転などの操作がおこなえます。画面に軽く触れるだけで反応するため、フリックやドラッグ操作も快適です。

拡大/縮小



回転



1-2. 梱包品の確認

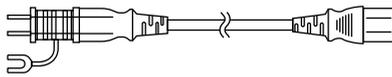
次のものがすべて入っているか確認してください。万一、不足しているものがある場合は、販売店または別紙のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

参考

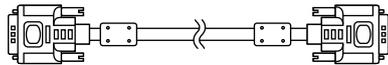
・ 梱包箱や梱包材は、この製品の移動や輸送用に保管していただくことをお勧めします。

・ モニター本体

・ 電源コード（二芯アダプタ）



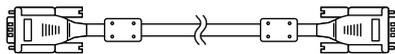
・ デジタル信号ケーブル：FD-C39×1本
DVI - DVI



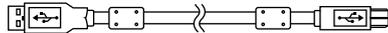
・ デジタル信号ケーブル：PP200×1本
DisplayPort - DisplayPort



・ アナログ信号ケーブル：MD-C87×1本
D-Sub - D-Sub



・ USBケーブル：MD-C93×1本



・ ステレオミニジャックケーブル



・ 取扱説明書（保証書付）×1冊

・ EIZO LCDユーティリティディスク（CD-ROM）×1枚

・ お客様ご相談窓口のご案内×1枚

・ クリーニングクロス×1枚

・ タッチペン×1個

・ タッチペンホルダー×1個

・ タッチペンホルダー取り付け用ねじ×1個

・ ねじ穴隠しシート2枚

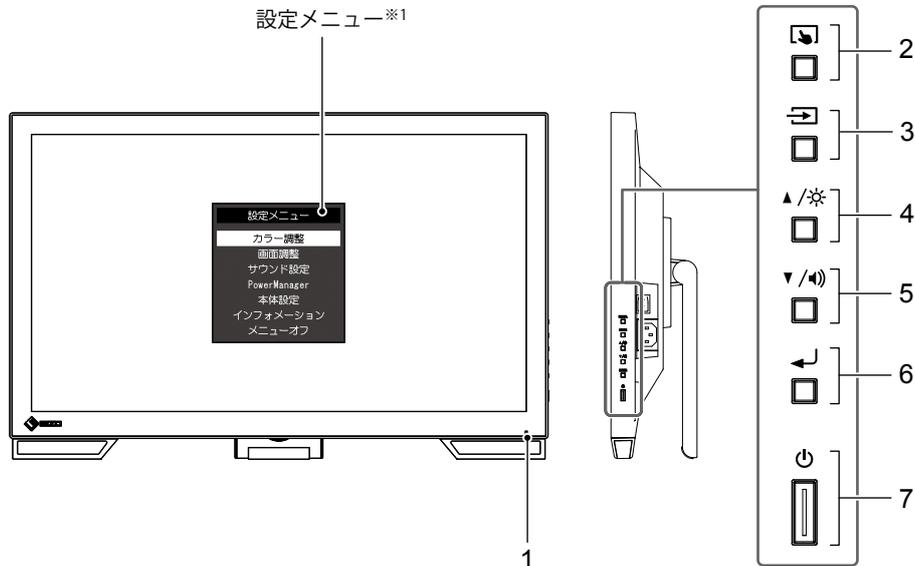
● EIZO LCDユーティリティディスクの収録内容

CD-ROMには、次のものが収録されています。各項目の起動方法や参照方法はディスク内のReadmeja.txtを参照してください。

- ・ Readmeja.txtファイル
- ・ モニターの設定マニュアル
- ・ タッチパネルドライバ（DMT-DD）
- ・ タッチパネルドライバの取扱説明書
- ・ タッチパネル感度調整ソフトウェア（TPOffset）
- ・ タッチパネル感度調整ソフトウェアの取扱説明書
- ・ 製品寸法図

1-3. 各部の名称と機能

● 前面

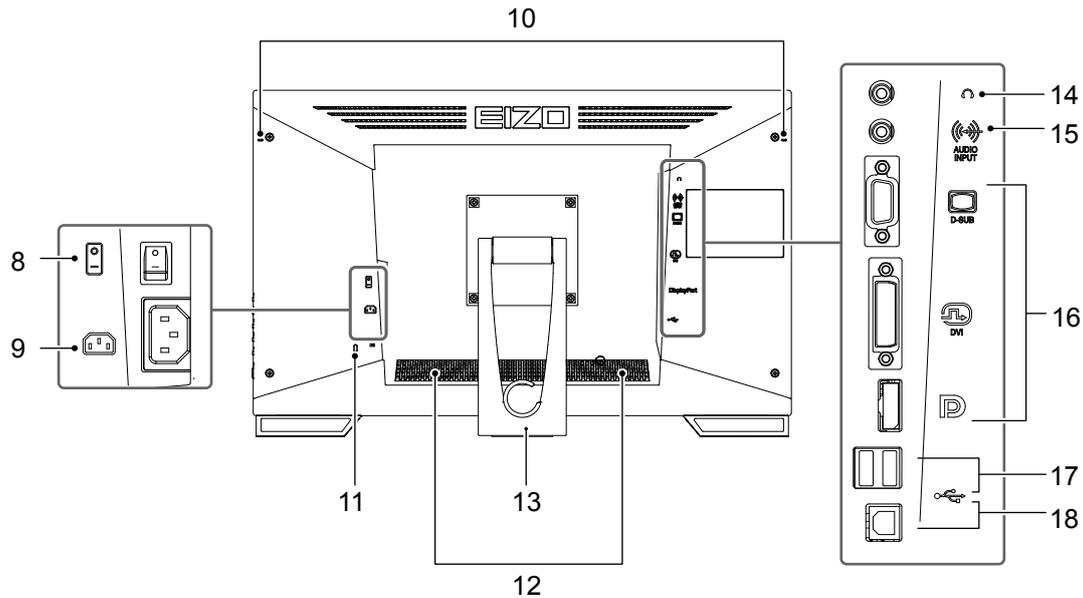


1. 電源ランプ	モニターの動作状態を表します。 青： 画面表示 橙： 省電力モード 消灯： 主電源オフ / 電源オフ
2. ボタン	タッチパネルの有効/無効を切り替えたり、タッチ感度を調整します。(P.19)。
3. ボタン	表示する入力信号を切り替えます。
4. ▲/☀ ボタン※2	設定メニュー表示中に項目の選択や機能の調整または設定をしたり、明るさ（ブライトネス）調整画面を表示します。
5. ▼/🔊 ボタン※2	設定メニュー表示中に項目の選択や機能の調整または設定をしたり、音量調整画面を表示します。
6. ボタン	設定メニューを表示し、各メニューの調整項目を決定したり、調整結果を保存します。
7. ボタン	電源のオン / オフを切り替えます。

※1 使用方法は設定マニュアル（CD-ROM内）を参照してください。

※2 この取扱説明書では、これ以降 ▲/☀ のボタンを ▲、▼/🔊 のボタンを ▼ と表記する場合があります。

● 背面



8. 主電源スイッチ	主電源のオン/オフを切り替えます。 : オン、○ : オフ
9. 電源コネクタ	電源コードを接続します。
10. タッチペンホルダー取り付け穴	タッチペンホルダーを取り付けます。(P.17参照)
11. 盗難防止用ロック	Kensington社製のMicroSaverセキュリティシステムに対応しています。
12. スピーカー	音声を再生します。
13. スタンド (ケーブルホルダー付)	角度が調整できます。
14. ヘッドホンジャック	ヘッドホンを接続します。
15. アナログ音声入力コネクタ	外部音声をモニターで再生できるようにします。
16. 信号入力コネクタ	コンピュータと接続します。 上 : D-Sub15ピン (ミニ) コネクタ 中 : DVI-Dコネクタ 下 : DisplayPortコネクタ
17. USBダウンストリームポート	USB2.0に対応している周辺機器と接続できます。
18. USBアップストリームポート	タッチパネルモニターとして使用する場合、またはUSBハブ機能を使用する場合にUSBケーブルを接続します。

第2章 設置 / 接続

2-1. 設置の前に

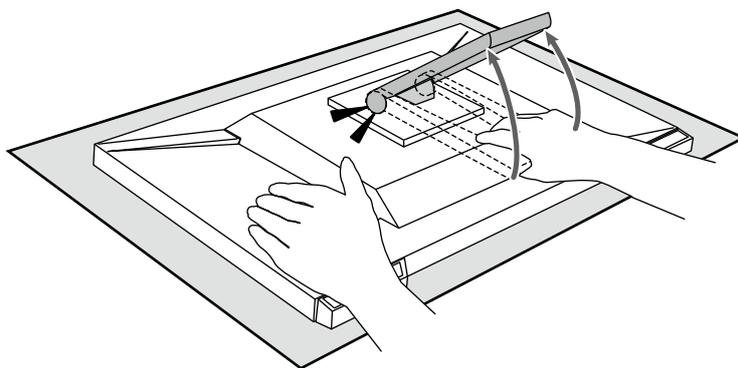
「使用上の注意」(P.3)をよく読み、必ずお守りください。

注意点

- ・ラッカー系の塗料を使用した机にこの製品を置くと、スタンドの底面に使用しているゴムの成分により、色が付着する場合があります。ご使用前にご確認ください。

● 設置の前に

安定した机の上などにやわらかい布などを敷き、クリック音がするまで、スタンドを開きます。

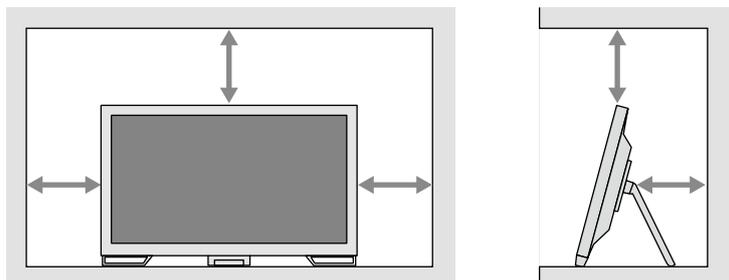


注意点

- ・梱包時の状態では使用しないでください。
梱包時はスタンドが閉じているため、そのまま使用するとモニターが転倒する恐れがあります。

● 設置条件

モニターをラックなどに設置する場合は、周囲(側面、背面、上方)に十分な空間を確保してください。



注意点

- ・照明の光が画面に映り込まないようにモニターを配置してください。

2-2. 接続する

注意点

- コンピュータ、周辺機器の電源は切った状態で接続してください。
- 今まで使用していたモニターをこの製品に置き換える場合、コンピュータと接続する前に「5-2. 対応解像度」(P.22)を参照し、コンピュータの設定をこの製品で表示できる解像度 / 垂直走査周波数に変更してください。

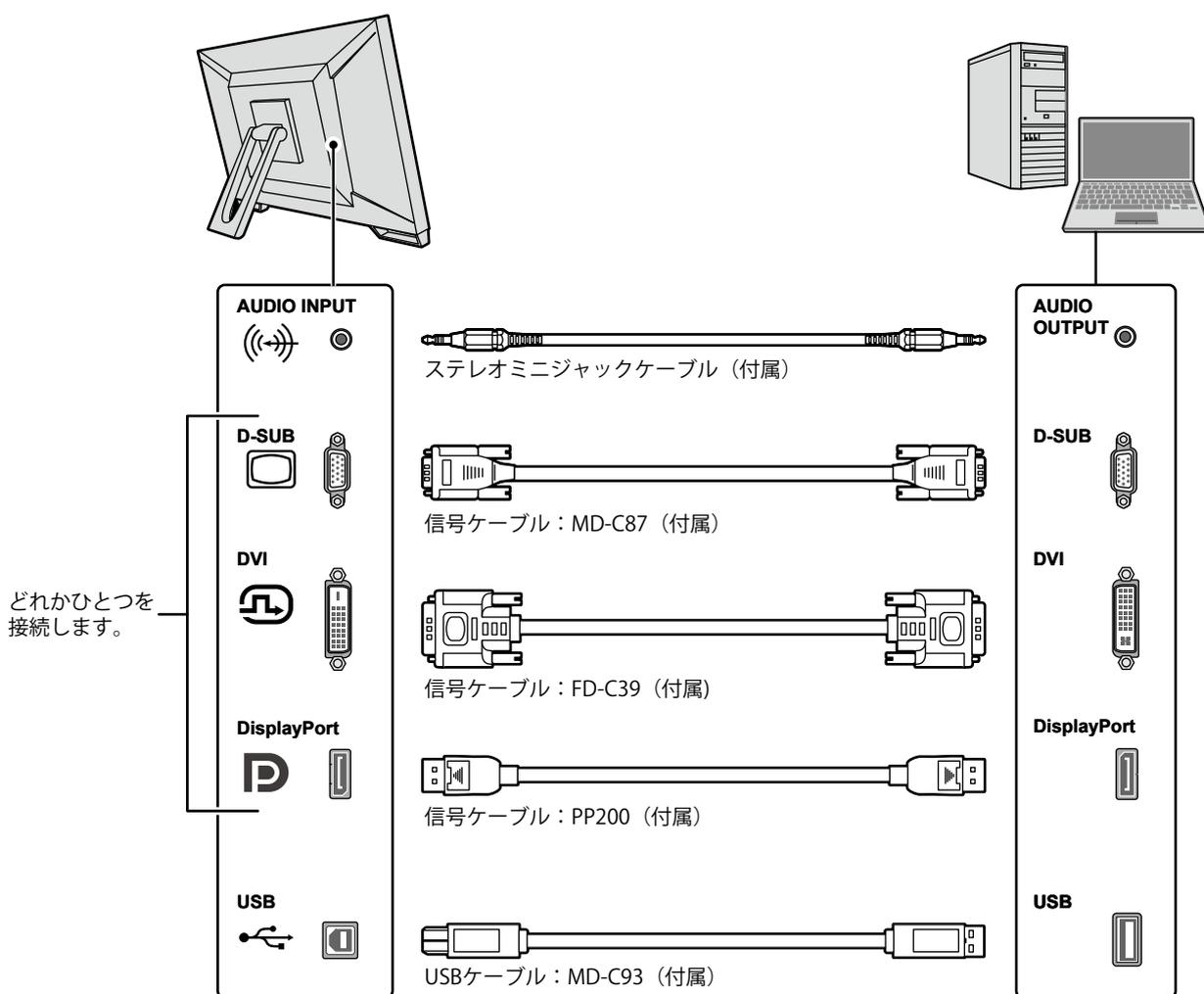
1. 信号ケーブルおよびUSBケーブルを接続します。

コネクタの形状を確認して、ケーブルを接続します。DVIケーブルを接続する場合は、固定ねじを最後までしっかりと回して、確実に固定します。

USBケーブルは、タッチパネルモニターとして使用する場合に接続します。接続するとUSBハブ機能も有効になります。

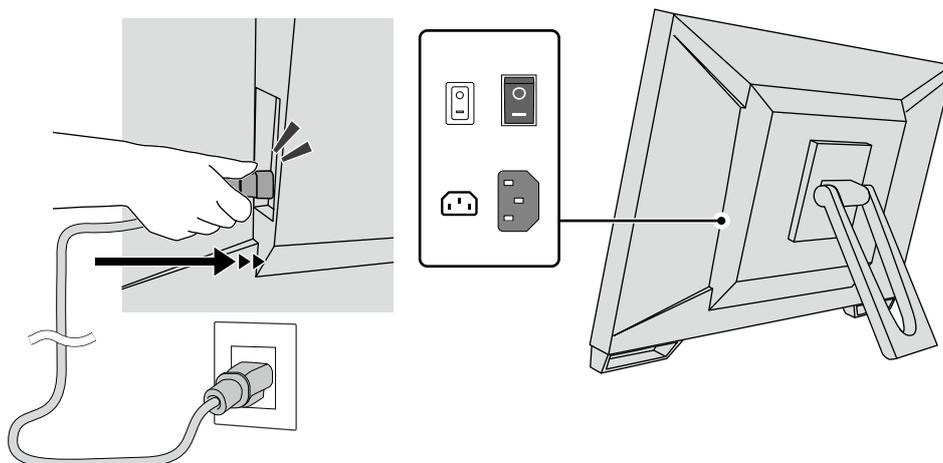
注意点

- 複数のコンピュータに接続する場合は、入力信号を切り替えて使用してください。詳細は、設定マニュアル(CD-ROM内)を参照してください。



2. 付属の電源コードをモニターの電源コネクタと電源コンセントに接続します。

電源コードをモニターの奥までしっかりと差し込んでください。



注意点

- 電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、アースリード（緑）を必ず接地してください。

2-3. 電源を入れる

1. 主電源スイッチがオンになっていることを確認します。

2. 電源スイッチを押して、モニターの電源を入れます。

モニターの電源スイッチのランプが青色に点灯します。

ランプが点灯しない場合は、「第4章 画面が表示されない場合には」（P.20）を参照してください。

3. コンピュータの電源を入れます。

画面が表示されます。

電源を入れても画面が表示されない場合は、「第4章 画面が表示されない場合には」（P.20）を参照してください。

注意点

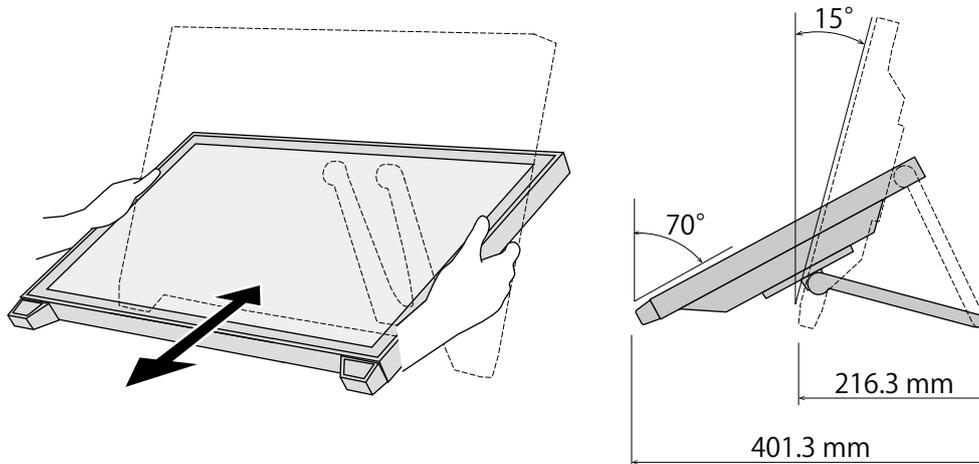
- 完全な省電力のためにはモニターの電源を切ることをお勧めします。モニターを使用しない時は、主電源を切るか、電源プラグを抜くことで電力が消費されなくなります。

参考

- 輝度劣化を抑制しモニターを長くお使いいただくため、および消費電力抑制のために次のことをご確認ください。
 - コンピュータまたはモニターのパワーセーブ機能を使用する。
 - 使用後はモニターの電源を切る。

2-4. 角度を調整する

モニターを両手で持ち、上下の角度を作業に適した状態になるように調整します。

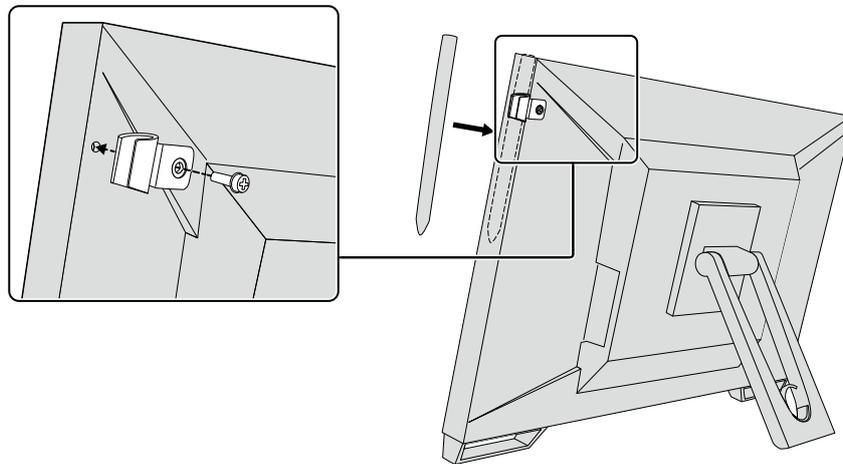


注意点

- 調整後、ケーブル類が正しく接続されていることを確認してください。

2-5. タッチペンホルダー取付方法

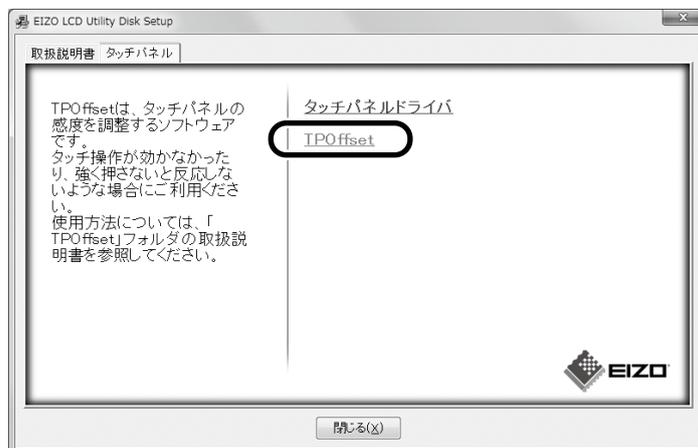
モニター背面の左右いずれかの穴にタッチペンホルダーを取り付けます。取り付けには、タッチペンホルダー取り付け用ねじを使用してください。



第3章 タッチパネルの設定

3-1. タッチパネルのセットアップ

USBケーブルを接続し、設置が完了した後で、感度調整ソフトウェア「TPOffset」を実行します。TPOffsetは、EIZO LCD ユーティリティディスク（CD-ROM）に収録されています。



参考

- TPOffsetは当社のWebサイトからダウンロードすることもできます。
<http://www.eizo.co.jp>
- 次のような場合にも必要に応じてTPOffsetを実行してください。
 - 使用環境が大きく変わった場合
 - 操作感が以前と変わったように感じた場合
 - カーソル位置がずれたり、カーソルが飛ぶなど、タッチ操作に問題がある場合

3-2. タッチパネルの設定方法

この製品のタッチパネルの機能は、使用するドライバおよびその設定により異なります。用途に合わせて設定してください。

機能	Windows標準ドライバ	専用のタッチパネルドライバ (DMT-DD) ^{※1}	
ドライバのインストール	不要	必要	
タッチ音の出力	×	○	
複数接続 ^{※2}	○ ^{※3}	○	
動作モード	タッチデジタイザ ^{※4}	タッチデジタイザ ^{※4,5}	マウスエミュレーション ^{※5}
マルチタッチ操作	○	○	×

※1 EIZO LCDユーティリティディスク（CD-ROM）に収録されています。

※2 ○：2台以上のこのモニターを1台のコンピュータに接続可能

※3 Windows 11 / Windows 10のみ可能

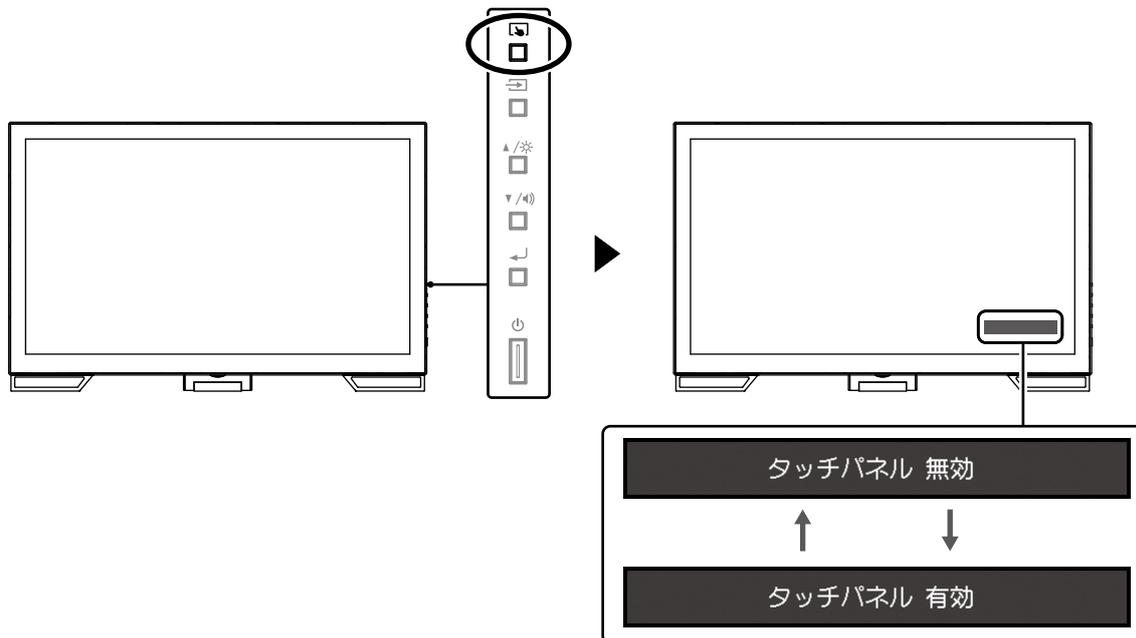
※4 マウスエミュレーションで設計されたアプリケーション上ではタッチ操作が認識されない場合があります。

※5 設定方法の詳細はタッチパネルドライバの取扱説明書（CD-ROM内）を参照してください。

Windows標準ドライバを使用する場合は、モニターの設定マニュアル（CD-ROM内）を参照してください。

3-3. タッチパネルの有効 / 無効を設定する

タッチパネルの有効 / 無効を切り替えることができます。一時的にタッチパネル機能を無効にしたい場合などに利用できます。

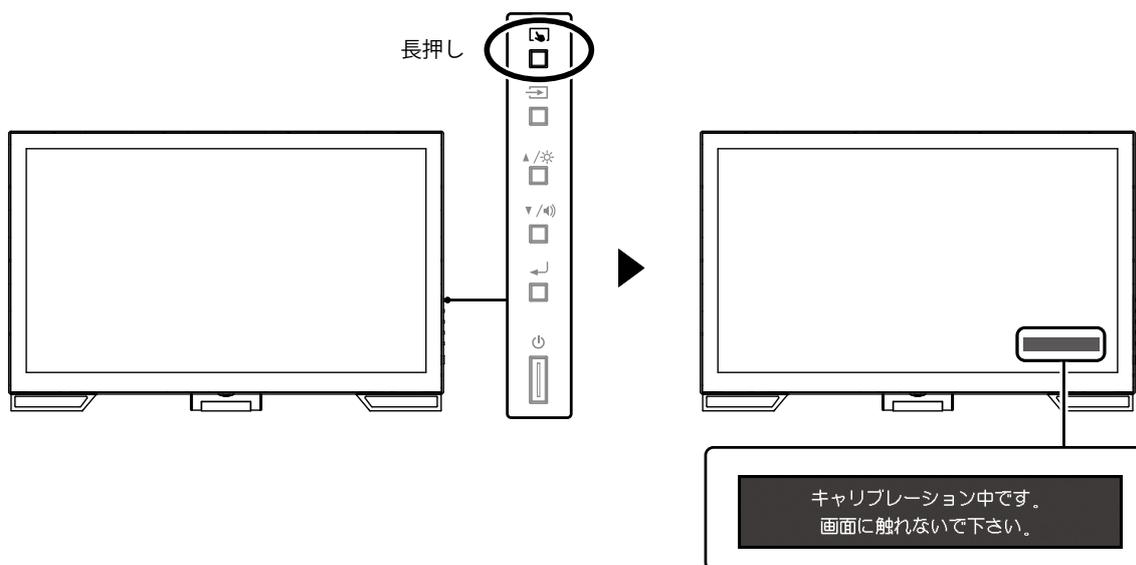


3-4. タッチ感度を調整する

☑️を長押しするとタッチ感度の調整（キャリブレーション）をおこなうことができます。タッチ操作に問題がある場合に調整できます。

参考

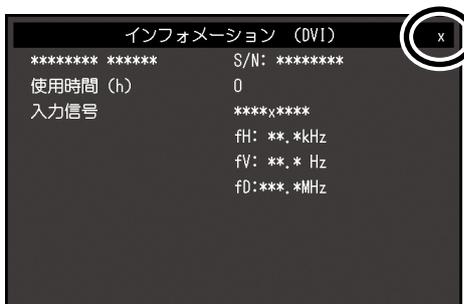
- モニターの設置後にTPOffsetを必ず実行してください。
- タッチ感度の調整をおこなっても問題が改善しない場合はTPOffsetを実行してください（「3-1. タッチパネルのセットアップ」(P.18) 参照）。



第4章 画面が表示されない場合には

表示画質やモニター機能に関する症状については、設定マニュアルを参照してください。

症状	原因と対処方法
1. 画面が表示されない <ul style="list-style-type: none"> 電源ランプが点灯しない 	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードは正しく接続されていますか。 主電源を入れてください。 ⏻を押してください。 主電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。
<ul style="list-style-type: none"> 電源ランプが点灯：青色 	<ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「ブライトネス」、「コントラスト」、「ゲイン」の各調整値を上げてみてください。詳細は、設定マニュアル（CD-ROM内）を参照してください。
<ul style="list-style-type: none"> 電源ランプが点灯：橙色 	<ul style="list-style-type: none"> ➡で入力信号を切り替えてみてください。 マウス、キーボードを操作してみてください。 パネル面にタッチしてみてください。 コンピュータの電源は入っていますか。 ご使用のコンピュータおよびグラフィックスボードによっては、入力信号が検出されず、省電力モードから復帰しない場合があります。マウス、キーボードを操作しても画面が表示されない場合は、モニターの電源ボタンで電源を切って、再度電源を入れてください。画面が表示されたら、次の手順を実行してください。症状が改善される場合があります。 <ol style="list-style-type: none"> ⏻を押して、モニターの電源を切ります。 ➡を押しながら⏻を押してモニターの電源を入れます。設定メニューの「インフォメーション」のメニュータイトルに「x」が表示されます。詳細は、設定マニュアル（CD-ROM内）を参照してください。
<ul style="list-style-type: none"> 電源ランプが点滅：橙色 	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータをDisplayPortコネクタに接続している場合に、この症状が発生することがあります。当社指定の信号ケーブルで接続し、モニターの電源を入れ直してみてください。
2. 次のようなメッセージが表示される	<p>この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。</p>
<p>例：</p> 	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータによっては電源を入れても信号がすぐに出力されないため、左のような画面が表示されることがあります。 コンピュータの電源は入っていますか。 信号ケーブルは正しく接続されていますか。 入力信号を切り替えてみてください。 背面の主電源スイッチを切り、もう一度スイッチを入れてみてください。 コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（「5-2. 対応解像度」(P.22) 参照）。 コンピュータを再起動してみてください。 グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な設定に変更してください。詳細はグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。



第5章 仕様

5-1. 仕様一覧

液晶パネル	種類	IPS		
	バックライト	LED		
	サイズ	58.4 cm (23.0) 型		
	解像度	1920ドット×1080ライン		
	表示面積	509.2 mm × 286.4 mm (横×縦)		
	画素ピッチ	0.265 mm		
	表示色	8 bit カラー：1677万色		
	視野角	178° / 178° (水平 / 垂直、標準値)		
	応答速度	中間階調域：約 6 ms (オーバードライブ設定：強、標準値)		
タッチパネル	表面処理	アンチグレア		
	表面硬度	5H		
	通信手段	USB転送		
	検出方式	投影型静電容量方式		
	対応OS ^{*1}	Microsoft Windows 11 (64ビット版) Microsoft Windows 10 (32ビット版 / 64ビット版) Microsoft Windows 8.1 (32ビット版 / 64ビット版) Microsoft Windows 7 (32ビット版 / 64ビット版)		
	同時タッチ点数	10点まで		
映像信号	入力端子	デジタル DisplayPort×1、DVI-D×1 (HDCP対応)		
		アナログ D-Sub 15ピン (ミニ)		
	デジタル走査周波数	水平	DisplayPort	31 kHz ~ 68 kHz
			DVI	31 kHz ~ 64 kHz
		垂直	59 Hz ~ 61 Hz (720×400 : 69 Hz ~ 71 Hz)	
	アナログ走査周波数	水平	31 kHz ~ 81 kHz	
		垂直	55 Hz ~ 76 Hz	
	フレーム同期モード	59 Hz ~ 61 Hz		
ドットクロック (最大)	デジタル	148.5 MHz		
	アナログ	148.5 MHz		
USB	ポート	アップストリームポート×1		
		ダウンストリームポート×2		
	規格	USB Specification Rev 2.0		
	通信速度	480 Mbps (ハイスピード) / 12 Mbps (フルスピード) / 1.5 Mbps (ロースピード)		
	供給電源	ダウンストリームポート：最大500 mA / 1ポート		
音声	入力	端子	ステレオミニジャック×1	
			DisplayPort×1 (映像信号と共用) - フォーマット：2チャンネルリニアPCM (32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz / 88.2 kHz / 96 kHz)	
	出力	端子	ステレオミニジャック×1 (ヘッドホン用)	
			スピーカー	1.0 W + 1.0 W
ヘッドホン			2.0 mW + 2.0 mW	
電源	入力	AC 100 V±10%、50 Hz / 60 Hz、0.65 A		
	消費電力	最大	42 W以下	
		省電力時	0.7 W以下	D-Sub入力のみ接続、USB非接続、オーディオケーブル非接続、「本体設定」 - 「入力信号」：「オート」設定時

電源	消費電力	待機時	0.7 W以下	D-Sub入力のみ接続、USB非接続、オーディオケーブル非接続時
機構	外観寸法 (幅×高さ×奥行)	製品全体	高さ最小	556.7 mm × 143.9 mm × 401.3 mm (チルト70°)
			高さ最大	556.7 mm × 353.9 mm × 216.3 mm (チルト15°)
		モニター部	556.7 mm × 339.2 mm × 54 mm	
	質量	製品全体	6.6 kg	
		モニター部	6.0 kg	
	チルト	15° ~ 70°		
環境条件	動作範囲	温度	5℃ ~ 35℃	
		湿度	20% ~ 80%R.H. (非結露状態)	
		気圧	540 hPa ~ 1060 hPa	
	輸送 / 保存範囲	温度	-20℃ ~ 60℃	
		湿度	10% ~ 92%R.H. (非結露状態)	
		気圧	200 hPa ~ 1060 hPa	

※1 OS提供元のサポート終了にともない、当社のサポートも終了します。

5-2. 対応解像度

この製品は次の解像度に対応しています。

● アナログ信号 (D-Sub) 入力時

解像度	垂直走査周波数
640 × 480	60 Hz ~ 75 Hz
720 × 400	70 Hz
800 × 600	56 Hz ~ 75 Hz
1024 × 768	60 Hz ~ 75 Hz
1280 × 720	60 Hz
1280 × 960	60 Hz
1280 × 1024	60 Hz ~ 75 Hz
1680 × 1050	60 Hz
1920 × 1080 ^{※1}	60 Hz

※1 推奨解像度です。

● デジタル信号 (DisplayPort / DVI-D) 入力時

解像度	垂直走査周波数	DisplayPort	DVI-D
640 × 480	60 Hz	○	○
720 × 400	70 Hz	○	○
720 × 480	60 Hz	○	-
800 × 600	60 Hz	○	○
1024 × 768	60 Hz	○	○
1280 × 720	60 Hz	○	○
1280 × 960	60 Hz	○	○
1280 × 1024	60 Hz	○	○
1680 × 1050	60 Hz	○	○
1920 × 1080 ^{※1}	60 Hz	○	○

※1 推奨解像度です。

5-3. オプション品

オプション品に関する最新情報および最新の対応グラフィックスボード情報は、当社のWebサイトを参照してください。<http://www.eizo.co.jp>

付録

VCCI

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
また、製品の付属品（ケーブルを含む）や当社が指定するオプション品を使用しない場合、VCCIの技術基準に適合できない恐れがあります。

VCCI-B

医療規格

この製品を用いる装置を設計、使用する場合は、IEC60601-1-1の規格要求に従ってください。

その他規格

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

この装置は、高調波電流を抑制する日本工業規格JIS C 61000-3-2に適合しております。

EMC情報

RadiForceシリーズは、画像を適正に表示する性能を有しています。

意図した使用環境

この製品は医院・病院などの専門的ヘルスケア施設内での使用を意図しています。次のような環境での使用は意図していません。

- ・ ホームヘルスケア環境
- ・ 電気メスなどの高周波手術機器の近傍
- ・ 短波治療機器の近傍
- ・ MRI用RF遮蔽室内
- ・ 遮蔽された場所の特殊環境内
- ・ 救急車両を含む車載
- ・ その他特殊環境

警告

RadiForceシリーズは、EMC（電磁両立性）に関する特別な安全上の注意を必要とします。EMC情報および本書内の「使用上の注意」をよくお読みになり、以下の指示に従って、設置、操作する必要があります。

ケーブルは、必ず付属品または当社の指定するケーブルを使用してください。

指定以外のケーブルを使用した場合、電磁妨害波の増加、電磁妨害に対する耐性低下の恐れがあります。

RadiForceシリーズは、他の機器に隣接した設置や積み重ねた状態で使用をしないでください。やむを得ずその状態で使用する場合は、RadiForceシリーズおよびシステムが実際に使用される構成で正常に動作することを確認してください。

携帯型RF通信機器は、ケーブルを含むRadiForceシリーズのいかなる部分に対しても、30cm以上離して使用してください。RadiForceシリーズに影響を与える恐れがあります。

信号入力部または出力部に追加装置を接続し、医療システムで使用する場合は、必ずIEC/EN60601-1-2の要件に準拠してください。

技術的説明

電磁エミッション

RadiForceシリーズは、次に規定する電磁環境内での使用を意図している。

RadiForceシリーズの顧客または使用者は、次の環境でRadiForceシリーズが使用されていることを確認すること。

エミッション試験	適合性	電磁環境 - ガイダンス
RFエミッション CISPR11/EN55011	グループ1	RadiForceシリーズは、内部機能のためだけにRFエネルギーを使用している。したがって、そのRFエミッションは非常に低く、近傍の電子機器に対して何らかの干渉を生じさせる可能性は少ない。
RFエミッション CISPR11/EN55011	クラスB	RadiForceシリーズは、住居環境および住居環境の建物に供給する公共の低電圧用の配電網に直接接続された建造物を含む、すべての施設での使用に適している。
高調波エミッション IEC/EN61000-3-2	クラスD	
電圧変動/ フリッカエミッション IEC/EN61000-3-3	適合	

電磁免疫

RadiForceシリーズは、IEC/EN60601-1-2で規定される専門的ヘルスケア施設環境での要求試験レベルに対して、次の適合レベルで試験されている。

RadiForceシリーズの顧客または使用者は、次の環境でRadiForceシリーズが使用されていることを確認すること。

イミュニティ試験	専門的ヘルスケア施設環境の試験レベル	適合レベル	電磁環境 - ガイダンス
静電気放電 (ESD) IEC/EN61000-4-2	±8 kV 接触放電 ±15 kV 気中放電	±8 kV 接触放電 ±15 kV 気中放電	床は、木材、コンクリートまたはセラミックタイルであること。床が合成材料で覆われている場合、相対湿度は、少なくとも30%であること。
電氣的ファストトランジェント/バースト IEC/EN61000-4-4	±2kV 電源ライン ±1kV 入出力ライン	±2kV 電源ライン ±1kV 入出力ライン	供給電源の品質は、標準的な商用または病院環境と同じであること。

電磁免疫ティ

RadiForceシリーズは、IEC/EN60601-1-2で規定される専門的ヘルスケア施設環境での要求試験レベルに対して、次の適合レベルで試験されている。

RadiForceシリーズの顧客または使用者は、次の環境でRadiForceシリーズが使用されていることを確認すること。

免疫ティ試験	専門的ヘルスケア施設環境の試験レベル	適合レベル	電磁環境 - ガイダンス
サージ IEC/EN61000-4-5	±1kV ライン-ライン間 ±2kV ライン-接地間	±1kV ライン-ライン間 ±2kV ライン-接地間	供給電源の品質は、標準的な商用または病院環境と同じであること。
交流電源における電圧ディップ、瞬時停電、および電圧変動 IEC/EN61000-4-11	0% U_T (100% U_T のディップ) 0.5サイクル、1サイクル 70% U_T (30% U_T のディップ) 25サイクル 0% U_T (100% U_T のディップ) 250サイクル間	0% U_T (100% U_T のディップ) 0.5サイクル、1サイクル 70% U_T (30% U_T のディップ) 25サイクル 0% U_T (100% U_T のディップ) 250サイクル	電源の品質は、標準的な商用または病院環境と同じであること。RadiForceシリーズの使用者が、電源の停電中にも連続した稼働を要求する場合は、RadiForceシリーズへの電力を無停電電源または電池から供給することを推奨する。
電力周波数磁界 IEC/EN61000-4-8	30 A/m (50/60Hz)	30 A/m	電力周波数磁界は、標準的な商用または病院環境における一般的な場所と同レベルの特性を持つこと。 電力周波数磁界の発生源とは少なくとも15cm以上離して使用すること。
RF電磁界による伝導妨害 IEC/EN61000-4-6	3 Vrms 150kHz~80MHz 6 Vrms 150 kHz~80 MHz間のISM帯域	3 Vrms 6 Vrms	携帯型および移動型RF通信機器は、ケーブルを含むRadiForceシリーズのいかなる部分に対しても、送信機の周波数に該当する方程式から計算された推奨分離距離より近づけて使用しないこと。 推奨分離距離 $d = 1.2\sqrt{P}$
放射RF電磁界 IEC/EN61000-4-3	3 V/m 80 MHz~2.7 GHz	3 V/m	$d = 1.2\sqrt{P}$ 80 MHz~800 MHz $d = 2.3\sqrt{P}$ 800 MHz~2.7 GHz ここでPは、送信機製造業者によるワット (W) で表した送信機の最大定格出力電力であり、dはメートル (m) で表した推奨分離距離である。 電磁界の現地調査 ^{a)} によって決定する固定RF送信機からの電界強度は、各周波数範囲 ^{b)} における適合レベルよりも低いこと。 次の記号が表示されている機器の近傍では、干渉が発生する可能性がある。 
注記 1	U_T は、試験レベルを加える前の、交流電源電圧である。		
注記 2	80 MHzおよび800 MHzにおいては、高い周波数範囲を適用する。		
注記 3	RF電磁界による伝導妨害や放射RF電磁界に関する指針は、すべての状況に対して適用するものではない。建築物、物、人からの吸収および反射は、電磁波の伝搬に影響する。		
注記 4	150 kHz~80 MHz間のISM帯域は、6.765 MHz~6.795 MHz、13.553 MHz~13.567 MHz、26.957 MHz~27.283 MHz、および40.66 MHz~40.70 MHzである。		
a)	例えば、(携帯/コードレス) 電話および陸上移動無線の基地局、アマチュア無線、AM/FMラジオ放送およびTV放送などの固定送信機からの電界強度を、正確に論理的に予測することはできない。固定RF送信機による電磁環境を見積もるためには、電磁界の現地調査を考慮すること。RadiForceシリーズが使用される場所において測定した電界強度が、上記の適用されるRF適合性レベルを超える場合は、RadiForceシリーズが正常に動作するかを検証するために監視すること。異常動作が確認された場合は、RadiForceシリーズの再配置または再設置のような追加対策が必要になることがある。		
b)	周波数範囲150 kHz~80 MHzにわたって、電界強度は3 V/m未満であること。		

携帯型および移動型RF通信機器との間の推奨分離距離と確認された各種通信機器サービス

RadiForceシリーズは、放射RF妨害が管理されている電磁環境内での使用を意図している。RadiForceシリーズの顧客または使用者は、携帯形及び異動形RF通信機器(送信機)とRadiForceシリーズとの間の最小距離を維持することで、電磁妨害を抑制するのに役立つ。以下のRF通信機器サービスに対する近接電磁界イミュニティは確認されている。

試験周波数 (MHz)	帯域 ^{a)} (MHz)	サービス ^{a)}	変調 ^{b)}	最大電力 (W)	最小分離距離 (m)	IEC/EN60601試験レベル (V/m)	適合レベル (V/m)
385	380~390	TETRA 400	パルス変調 ^{b)} 18Hz	1.8	0.3	27	27
450	430~470	GMRS 460, FRS 460	FM ±5kHz偏差 1kHz正弦	2	0.3	28	28
710	704~787	LTE帯域13,17	パルス変調 ^{b)} 217Hz	0.2	0.3	9	9
745							
780							
810	800~960	GSM800/900, TETRA 800, iDEN 820 CDMA 850, LTE帯域5	パルス変調 ^{b)} 18Hz	2	0.3	28	28
870							
930							
1720							
1845	1700~1990	GSM 1800; CDMA 1900; GMS 1900; DECT; LTE帯域1,3,4,25; UMTS	パルス変調 ^{b)} 217Hz	2	0.3	28	28
1970							
2450	2400~2570	ブルートゥース, WLAN, 802.11 b/g/n, FIRD 2450, LTE帯域7	パルス変調 ^{b)} 217Hz	2	0.3	28	28
5240	5100~5800	WLAN 802.11a/n	パルス変調 ^{b)} 217Hz	0.2	0.3	9	9
5500							
5785							

a) サービスによっては、アップリンク周波数のみふくまれる。

b) 搬送波は、50%デューティサイクル矩形波信号を用いて変調した。

RadiForceシリーズは、放射RF妨害が管理されている電磁環境内での使用を意図している。その他の携帯型及び移動型RF通信機器(送信機)について、通信機器の最大出力に基づくRadiForceシリーズとの間の最小距離は、次のとおりである。

送信機の最大定格出力 (W)	送信機の周波数に基づく分離距離 (m)		
	150 kHz~80 MHz $d = 1.2\sqrt{P}$	80 MHz~800 MHz $d = 1.2\sqrt{P}$	800 MHz~2.7 GHz $d = 2.3\sqrt{P}$
	0.01	0.12	0.12
0.1	0.38	0.38	0.73
1	1.2	1.2	2.3
10	3.8	3.8	7.3
100	12	12	23

上記にリストされていない最大定格出力の送信機に関しては、送信機の周波数に対応する式を使用して推奨分離距離d (単位はメートル (m)) を決定できる。ここで、Pは送信機製造業者による送信機の最大定格出力 (単位はワット (W)) である。

注記1 80 MHzおよび800 MHzにおいて、分離距離は高い周波数範囲を適用する。

注記2 これらの指針は、すべての状況に対して適用するものではない。建築物、物、人からの吸収および反射は、電磁波の伝搬に影響する。

ケーブル	長さ
信号ケーブル: PP300	3 m
信号ケーブル: DD300	3 m
信号ケーブル: MD-C87	1.8 m
USB ケーブル: UU300	3 m
オーディオケーブル: シールド	2.1 m
ヘッドフォンケーブル: シールド	3 m
電源ケーブル (アース付き)	3 m

アフターサービス

この製品のサポートに関してご不明な場合は、別紙「お客様ご相談窓口のご案内」に記載の窓口にお問い合わせください。

修理を依頼される時

- 保証期間中の場合
保証書の規定に従い、修理または交換をさせていただきます。
- 保証期間を過ぎている場合
修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前、ご連絡先の住所、電話番号/FAX番号
- お買い上げ年月日、販売店名
- 製品名、製造番号
（製造番号は、本体の背面部のラベルに表示されている8桁の番号です。例）S/N 12345678）
- 使用環境（コンピュータ/グラフィックスボード/OS、システムのバージョン/表示解像度など）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳細に）

製品回収、リサイクルシステムについて

パソコン及びパソコン用モニターは「資源有効利用促進法」の指定再資源化製品に指定されており、メーカーは自主回収及び再資源化に取り組むことが求められています。

当社製品は、一般社団法人「パソコン3R推進協会」が回収させていただきます。

回収を希望されるお客様は当社のWebサイトよりお申し込みください。

(<http://www.eizo.co.jp>)

※ この製品は業務用途を意図した製品ですので、ご使用後廃棄される場合は有償となります。

保証書

この保証書は、購入日がわかる書類（納品書やレシートなど）とともに保管し、保証を受ける際はご提示ください。

保証期間	お買い上げの日より 3年間
製品名	RadiForce® MS236WT

記入欄

フリガナ	製造番号 (S/N)
お名前 様	製造番号は、本体の背面部のラベル上に表示されている8桁の番号です。
TEL ()	お買い上げ年月日 年 月 日
〒 ご住所	販売店の住所、店名

保証規定

- 本製品の取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合、無料にて故障箇所の修理または交換をさせていただきますので、保証書を添えてお買い上げの販売店またはEIZOメンテナンスセンターまでお申しつけください。
- 保証期間内でも次のような場合には、有償修理とさせていただきます。
 - 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - お買い上げの後の輸送・移動・落下などによる故障及び損傷
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧などの外部要因に起因する故障及び損傷
 - 強い振動や衝撃を受ける場所に搭載された場合に生じる故障及び損傷
 - 電池の液漏れによる故障及び損傷
 - 液晶パネル、バックライトの経年劣化（色の变化、輝度と色の均一性の变化、焼き付き、欠点の増加など）
 - センサーの経年劣化
 - 外装品（液晶パネルの表面を含む）の損傷、変色、劣化
 - 付属品（リモコン、ケーブル、取扱説明書など）の交換
 - 当社指定の消耗品（電池、スイッチ/ボタン/レバー類、回転部など）の交換
 - 技術革新などにより製品に互換性がなくなった場合
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
 - 保証書は、保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。なお、保証期間経過後の修理についてご不明な場合はお買い上げの販売店またはEIZOメンテナンスセンターまでお問い合わせください。
 - 当社では、この製品の補修用性能部品（意匠部品を除く、製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の生産終了後、最低7年間保有しています。補修用性能部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、EIZOメンテナンスセンターにご相談ください。
 - 修理の際に当社の品質基準に達した再生部品を使用することがあります。
 - 修理状況や補修用性能部品の在庫切れ等により修理できない場合は、修理に代えて同等性能製品への置き換えを提案させていただきます。



EIZO株式会社

〒 924-8566 石川県白山市下柏野町 153 番地

<http://www.eizo.co.jp>

Copyright © 2017 - 2022 EIZO Corporation. All rights reserved.

00N0N025B2
IFU-MS236WT-JA

2nd Edition - June, 2022 Printed in Japan.